

## IV. 調査結果の分析

\* 回答者の年齢構成が調査ごとに異なるため、時系列での比較には留意する必要があります。

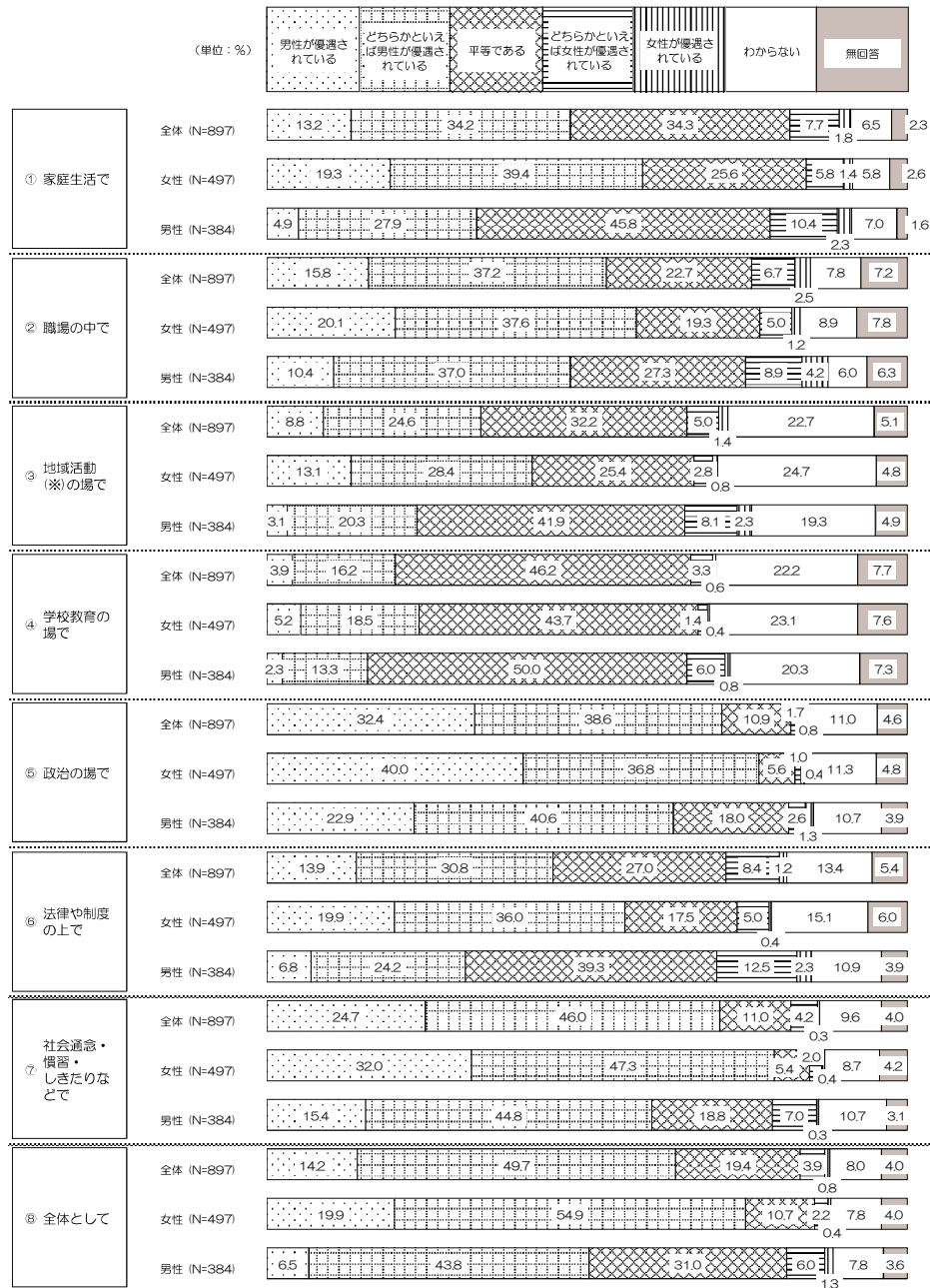
\* 回答者の男女比率や年齢構成が母集団と異なっていることに、留意する必要があります。

### 1 男女の地位の平等について

#### (1) 男女平等の現状認識

問1. 次にあげる分野で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。(〇はひとつずつ)

〔図表 1-1 男女平等の現状認識 (性別)〕



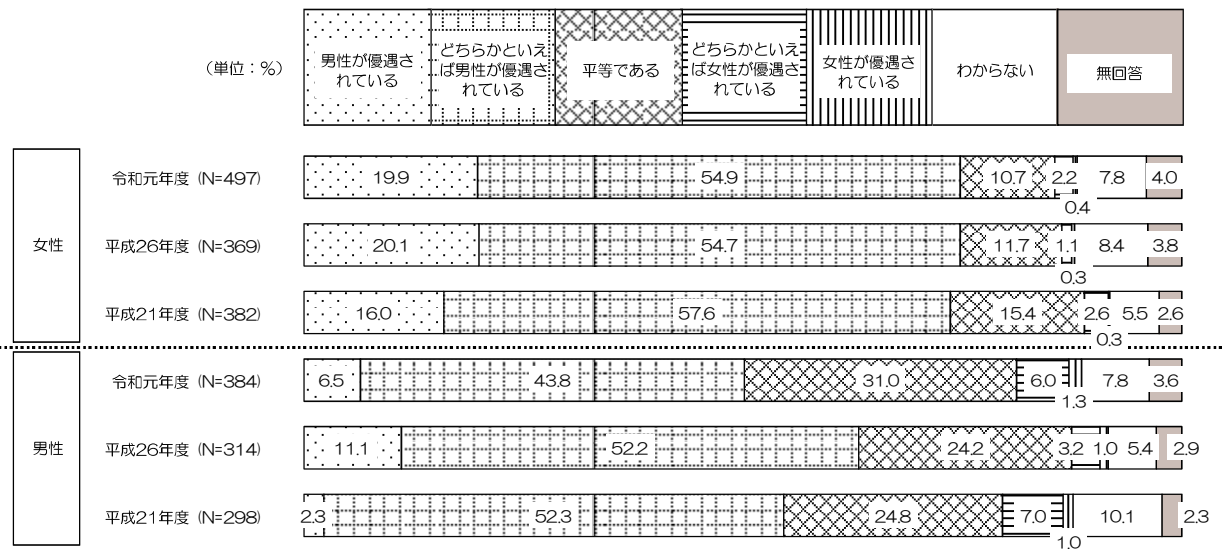
※「地域活動」とは自治会、PTA、民生委員、NPO やボランティアでの活動などを指します。

**【男女とも「政治の場」「社会通念・慣習・しきたりなど」で『男性優遇』の割合が高い】**

男女平等の現状認識についてみると、男女とも「政治の場」「社会通念・慣習・しきたりなど」で、『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合）が特に高く、女性で約8割、男性で約6割となっている。「全体として」は、女性の74.8%、男性の50.3%が『男性優遇』と感じている。「平等である」と感じている割合が高かったのは「学校教育の場」で、女性43.7%、男性50.0%となっている。（図表 1-1）

⑧全体として

〔図表 1-1-1 男女平等の現状認識（過去の調査との比較）〕

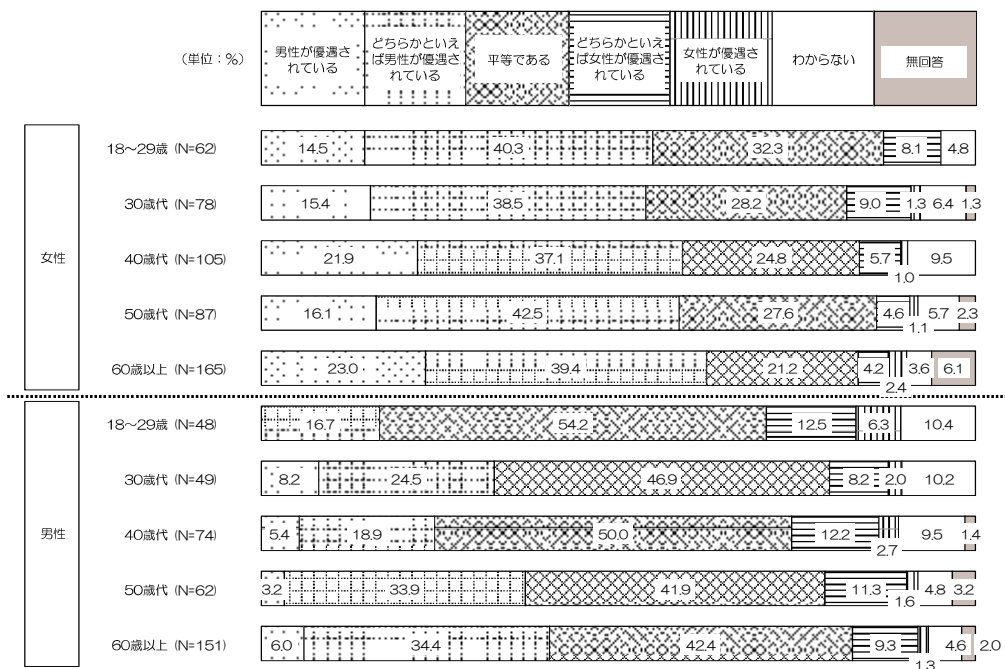


**【過去の調査との比較】**

平成 26 年度と比較をすると、女性では『男性優遇』と感じている割合が前回と同じであった。男性では、『男性優遇』と感じている割合が前回より 13.0 ポイント減少している。（図表 1-1-1）

①家庭生活で

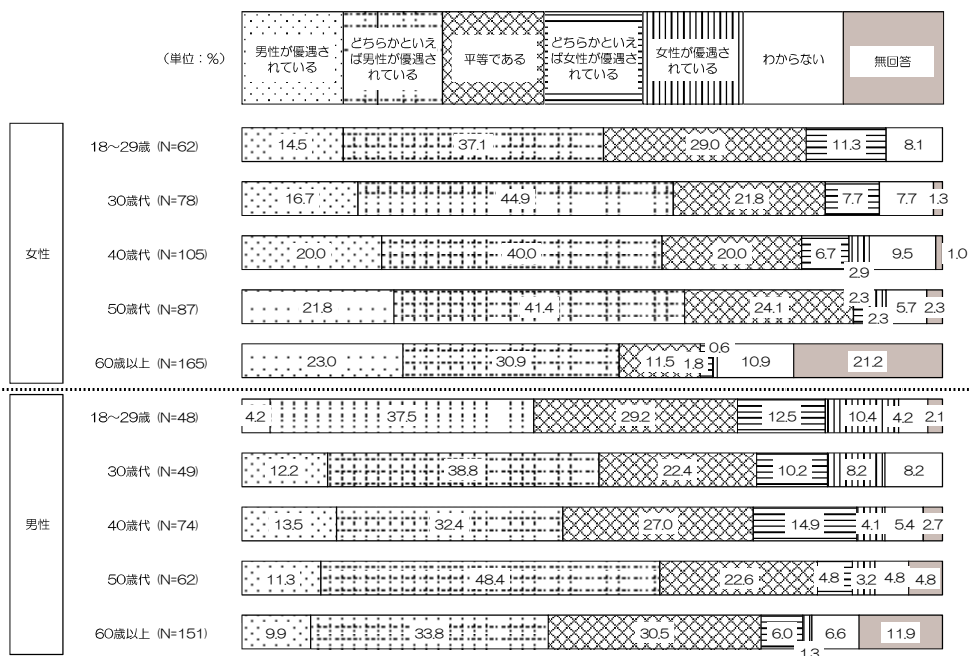
〔図表 1-1-2 男女平等の現状認識（性・年代別）〕



女性では、全ての年代で『男性優遇』と感じている人が半数を超えている。男性では 18~29 歳、40 歳代で「平等である」と感じている割合が半数を超えている。(図表 1-1-2)

②職場の中で

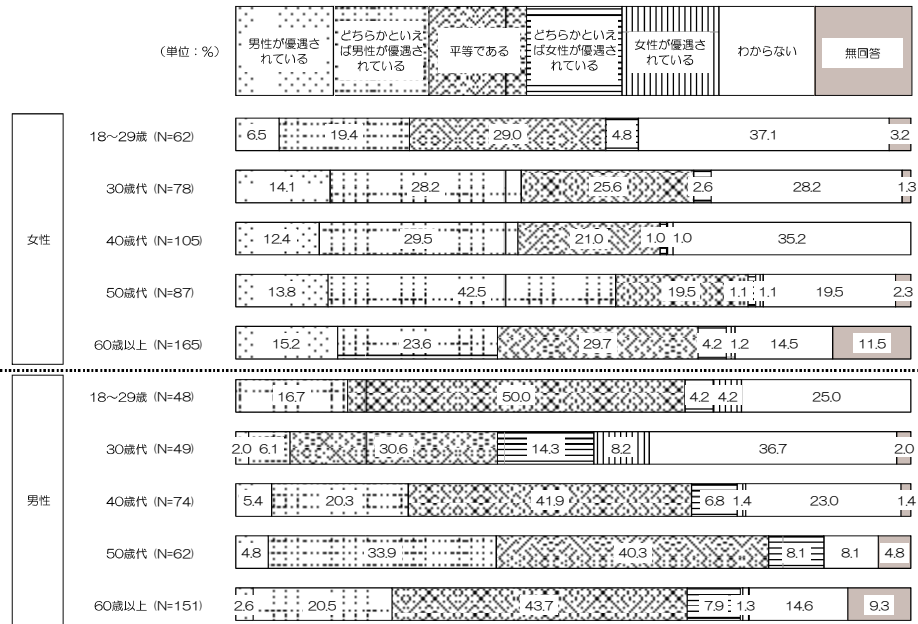
〔図表 1-1-3 男女平等の現状認識（性・年代別）〕



女性では『男性優遇』と感じている人が、いずれの年代でも半数を超えている。60 歳以上では「平等である」と感じている割合は、男性の方が女性より 19.0 ポイント高い。(図表 1-1-3)

③地域活動の場で

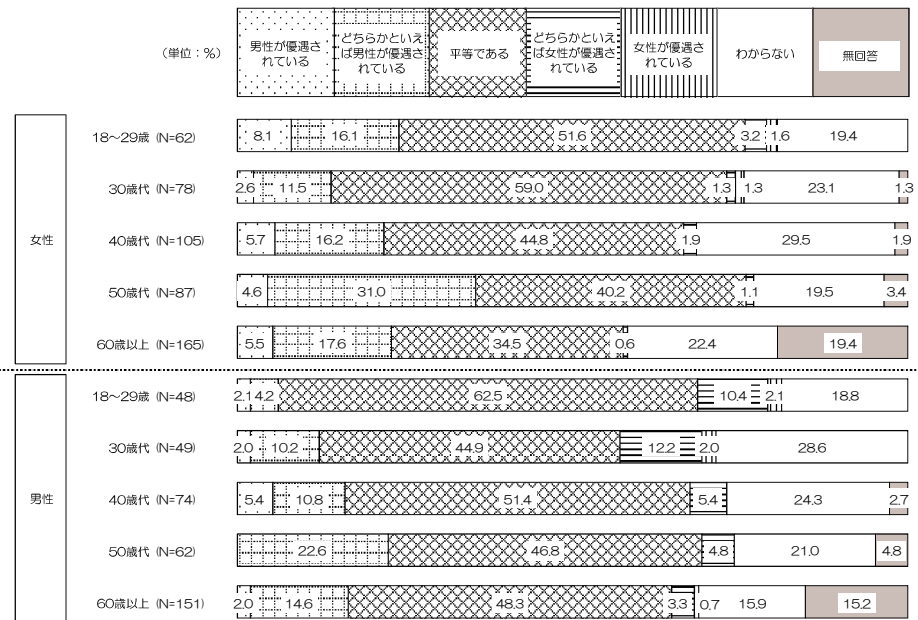
〔図表 1-1-4 男女平等の現状認識（性・年代別）〕



全ての年代で女性の方が男性より『男性優遇』と感じている割合が高い。(図表 1-1-4)

④学校教育の場で

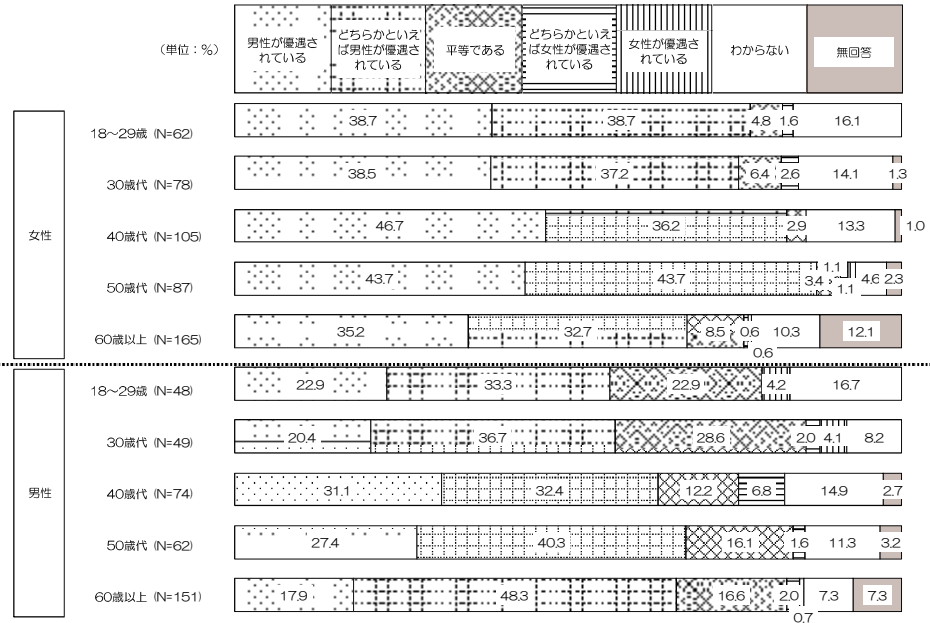
〔図表 1-1-5 男女平等の現状認識（性・年代別）〕



男女とも、全ての年代で「平等である」と感じている割合が最も高い。(図表 1-1-5)

⑤政治の場で

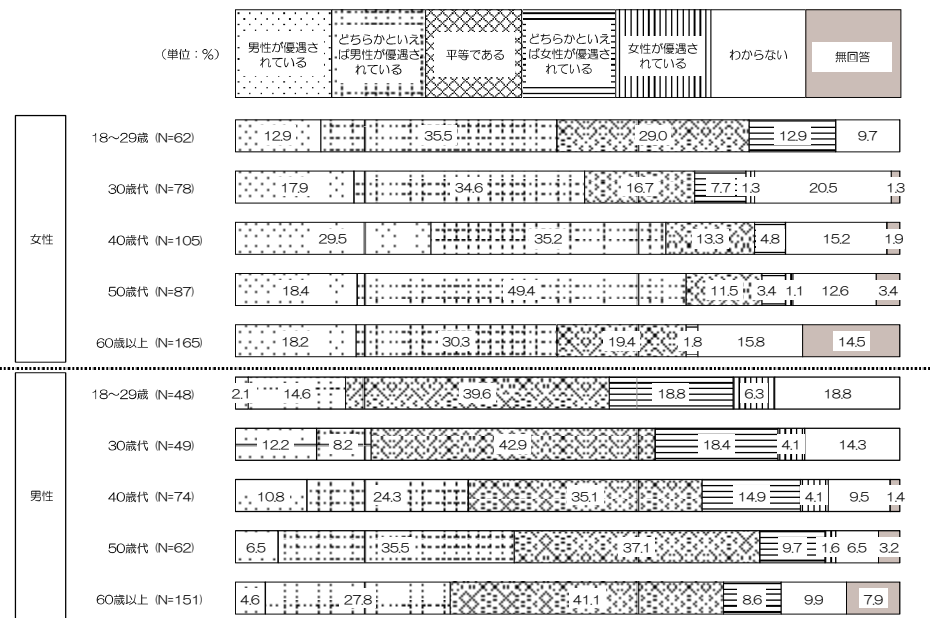
〔図表 1-1-6 男女平等の現状認識（性・年代別）〕



全ての年代で男女とも『男性優遇』と感じている割合が過半数を超えている。(図表 1-1-6)

⑥法律や制度の上で

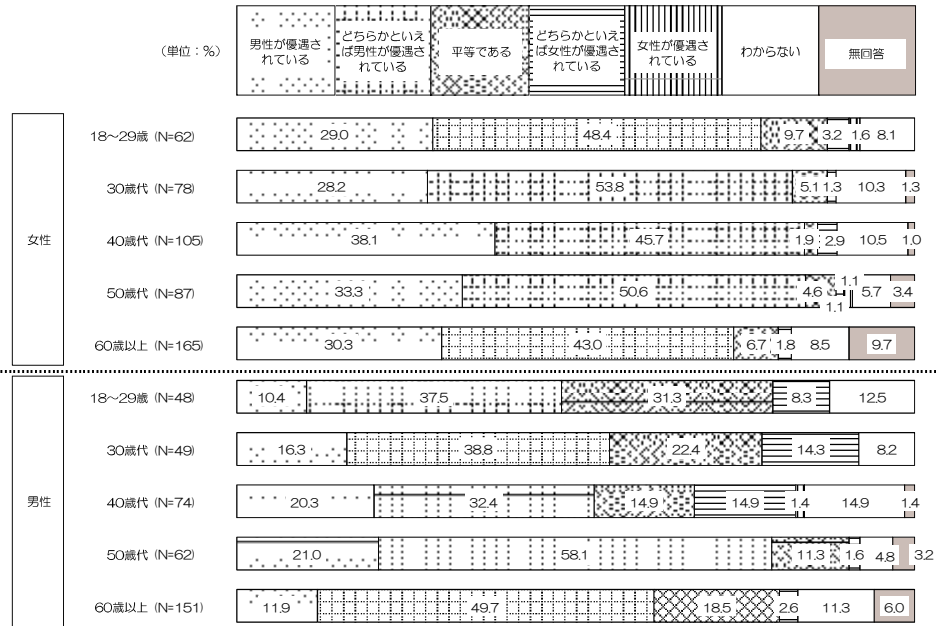
〔図表 1-1-7 男女平等の現状認識（性・年代別）〕



概ね全ての年代で女性は『男性優遇』と考えているが、男性は「平等である」と感じている割合が高い。(図表 1-1-7)

⑦社会通念・慣習・しきたりなどで

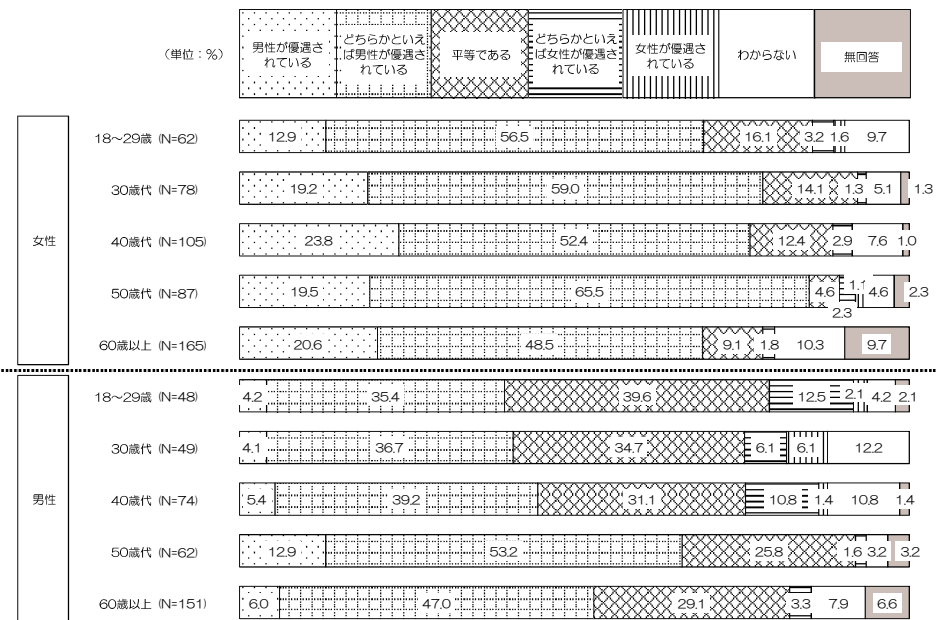
〔図表 1-1-8 男女平等の現状認識（性・年代別）〕



女性の30～50歳代では、『男性優遇』と感じている割合が8割を超えている。(図表 1-1-8)

⑧全体として

〔図表 1-1-9 男女平等の現状認識（性・年代別）〕

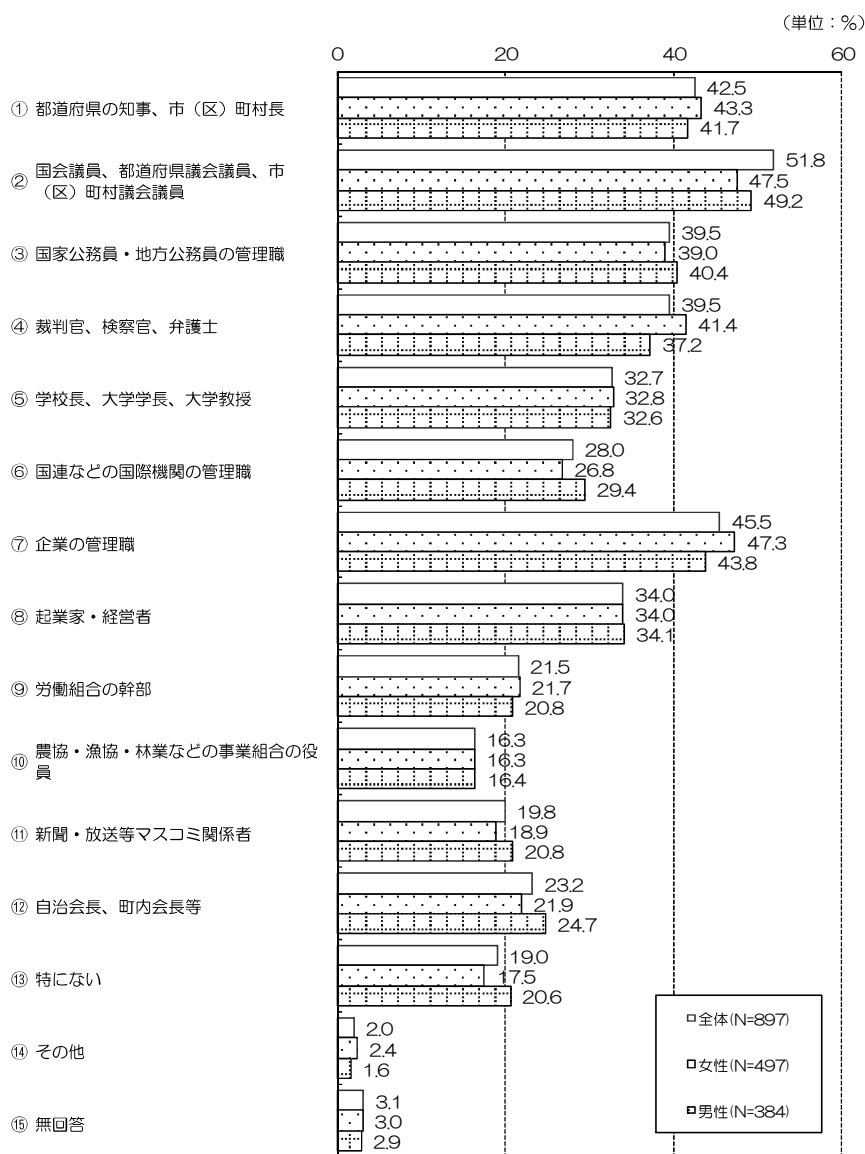


女性では、全ての年代において『男性優遇』と感じている割合が6割を超えている。(図表 1-1-9)

## (2) 女性の増加が望まれる職業・役職

問2. 次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方が良いと思うのはどれですか。この中からいくつでもあげてください。(〇はいくつでも)

〔図表 1-2 女性の増加が望まれる職業・役職（性別）〕



### 【女性が増える方が良い職業・役職は国会議員、地方議会議員】

女性が増える方が良いと思う職業や役職は、「国会議員、都道府県議会議員、市(区)町村議会議員」が51.8%、「企業の管理職」が45.5%、「都道府県の知事、市(区)町村長」が42.5%となっている。(図表 1-2)